

(様式第2号)

## パブリックコメント実施結果

件名 第3期宍粟市地域福祉計画（案）

担当課 健康福祉部社会福祉課

意見の募集期間 令和元年12月27日から令和2年1月27日まで

意見提出者数 1人（持参0人、郵送0人、FAX0人、電子メール1人）

意見提出件数 2件

### 意見の概要と市の考え方

反映区分		
A	計画等に反映させるもの	1件
B	計画等に反映済みなもの	0件
C	今後の参考とするもの	1件
D	計画等に反映できないもの	0件
E	その他の感想や質問など	0件

〔項目名 (施策等の案の項目別に整理すること) 〕

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方	反映区分
1	「1章 2. 地域福祉とは」の解説は、計画の標題にある言葉なので、その解説はとても重要です。読みやすく、わかりやすい文章でとてもいいと思います。しかし、中ほどから地域生活課題の解決についてのくだりで、「自助」「互助」「共助」「公助」の説明があります。下欄の説明書きに示されているとおり、福祉の支援方法は「自助」「共助」「公助」という3つの項目で説明されているものがありますが、ここでは社会保険や介護保険の制度化された相互扶助の取組みを「共助」とし、住民同士の助け合いの取組みは「互助」と表記しています。そもそもこの支援方法の区分で「公助」を行政による公的なサービスや社会福祉制度とすると、「共助」「公助」との区別がつかないことになります。本来、行政が地域福祉	自助・互助・共助・公助の支援方法の区分説明から、地域社会や行政がめざす姿の記述に内容を変更します。	A

	<p>活動のために担うべき地域住民の活動支援や支援体制の構築など、とても重要な基盤整備の取組みが注目されません。つきましては、このセンテンスでは、「自助」「互助」「共助」「公助」の支援方法の区分を説明するよりも、地域福祉がめざすもの（何のための地域福祉なのか）や、行政が担う役割の説明を示していただきたいと思います。</p>		
2	<p>「4章 評価指標」の令和6年度の欄は目標値であると思いますが、数値ではなく「増加」の文字があるところは、可能な限り数値で示すことが良いと思います。</p>	<p>数値化が難しい目標について、「増加」等の表現により対応しております。（数値化できるものは数値で示しております。）</p>	C